



神戸大学URAの取組みと文理融合プロジェクトの事例

犬伏祥子, 寺本時靖, 岩崎之勇, 吉田一, 富田克彦, 瀧和男

神戸大学 学術研究推進本部 学術研究戦略企画室

要旨

神戸大学は平成25年度文部科学省研究大学強化促進事業に採択され、6名のURAを配置しました。神戸大学URAは (1)研究力評価指標の改善、(2)中長期的な研究力強化の仕組み作りを重点をおいて活動を始めました。

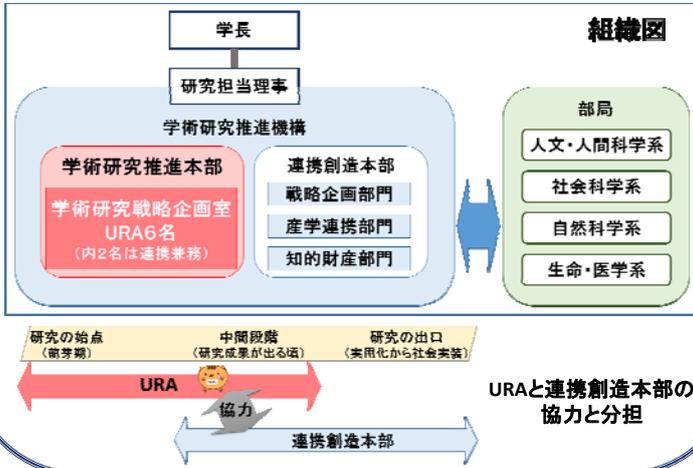
本発表では、神戸大学URAの取組みの紹介と、特に文理融合プロジェクトをはじめとするプロジェクトの創成支援についてご紹介します。

平成26年度 研究力強化の重点項目

- (1) 研究力評価指標の改善に関する取組み
 1. 科研費、CREST・さががけの採択改善
 2. 論文の質・量(国際化)の改善に向けた仕組み作りと試行
- (2) 中長期的な研究力強化の仕組み作り
 1. 若手研究者の支援・育成の仕組み作り
 2. 新規プロジェクトの創生支援の仕組み作り

組織

学術研究推進機構の中に学術研究推進本部があり、その中に新たに学術研究戦略企画室が設置され、6名のURAが配置されました。連携創造本部と協力・分担をしながら業務を進めています。



学内ネットワークの構築(活動のベースとして)

URAによる部局訪問

- ① URA業務の紹介
- ② 部局との双方向情報伝達ルートの確立
- ③ 部局における研究力強化取組みの調査
- ④ URAに対するニーズの調査

URAの部局担当者(主・副担当)を決め、全16部局を訪問

↓
部局幹部とのパイプ構築

研究者との関係構築

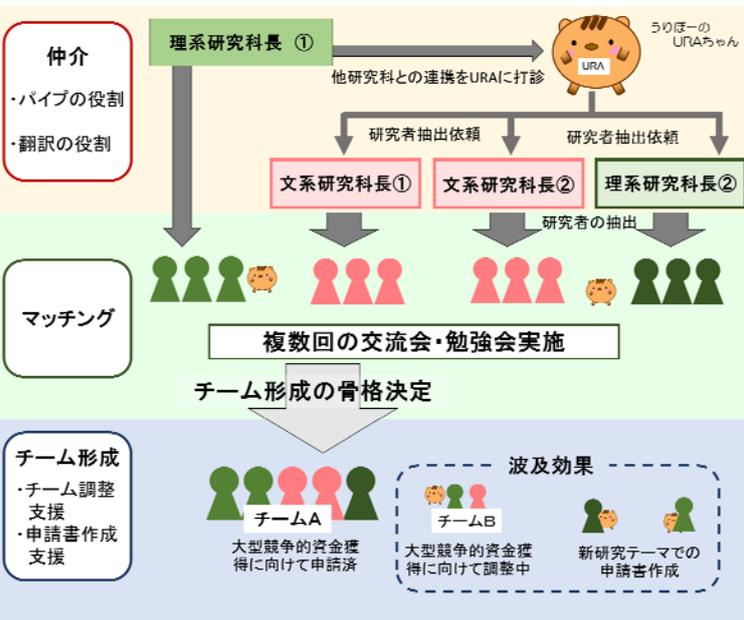
- ① 科研、CREST・さががけ等の申請書作成支援を通じた関係作り
- ② プロジェクト創成支援を通じた関係作り



プロジェクト創成支援の取組みについて

神戸大学の特徴となるべき文理融合プロジェクト、および将来の研究の柱となるべき分野横断プロジェクトの創成は、URAの大きな任務です。複数の学部研究科にまたがるプロジェクトは、互いを知ることの難しさから、チーム形成期に大きな困難を伴うケースが見られます。神戸大学URAはこのチーム形成期・立ち上げ期の支援から、研究計画の作成や競争的資金の申請まで幅広く支援を行っています。

文理融合プロジェクトの事例



理工連携プロジェクトの事例

